

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(共同水質検査手数料)

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	5,030千円	4,393千円	5,676千円	0千円
総人件費	2,278千円	2,229千円	5,200千円	
総事業コスト	7,308千円	6,622千円	10,876千円	

事務事業名	- 水質検査事業				指標名	検査実績				指標種別	活動結果指標									
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要							
戦略プラン	-				12	12	12	12	12	12	12	12	水道水が水質基準に適合していること							
総合戦略	-				実績	12	12	-					その他の指標							
個別計画	-				H27年度				H28年度				事業実施コスト							
根拠法令等	水道法20条				改善目標	-				改善目標	-				事業費(A)	5,030千円	4,393千円	5,676千円	0千円	
事業分類	C 義務的事業				事業計画	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成するため取り組んでまいります。				事業計画	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成するため取り組んでまいります。				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	全て委託				活動実績	水道水質基準を順守することを平成27年度の取り組み方針として、事業を推進し、すべての水質検査結果が水質基準に適合していることを確認しました。				上半期活動実績	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	水道利用者が安心して飲用できるよう常に安全で良好な水質であることを確認するため。				成果	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく検査項目と頻度により水質検査を実施し、その検査結果が水道水質基準を超過したことはなく、総合計画の基本施策である「安全で安定した生活用水の供給」の目的を達成しました。				上半期成果	-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	水道法及び水道法施行規則の規定に基づく項目、頻度等により水質検査を実施することで、水道水が水質基準に適合していることを確認する。				課題	毎年、水質検査項目及び検査頻度を見直して法令等に基づき適切に水質検査を実施する必要があります。また、茨城県水道水質共同検査業務の基本である水源から給水栓までの一貫した水道水質の適正な管理の特性を有効に活用するとともに、関係機関及び水道行政等と良好な関係を保持し、常に最新の情報を収集することで、水質検査に係る施策を先取りするなどの対応をして				課題	-				一般財源	5,030千円	4,393千円	5,676千円	0千円	
ISO 14001 環境関連性	その他				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	人件費(B)	2,278千円	2,229千円	5,200千円				
					有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.70人	
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				臨時職員等	有	有	無		
													事業コスト(A+B)	7,308千円	6,622千円	10,876千円				
													H29年度当初積算根拠	-						
													H29年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,767千円	2,729千円	6,480千円	0千円
総人件費	2,278千円	2,229千円	4,457千円	
総事業コスト	4,045千円	4,958千円	10,937千円	

部等名	課等名	係等名
上下水道部	水道監視センタ-	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(配水場修繕)

事務事業名	配水場内施設修繕工事業				指標名	修繕実績				指標種別	活動結果指標					
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要			
戦略プラン	-	-	-	-	実績	10	-	-					-			
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標			
個別計画					改善目標	各施設の重要度・能力・機能等を精査しながら、安定給水に必要な修繕工事を実施する。				改善目標	各施設の重要度・能力・機能等を精査しながら、安定給水に必要な修繕工事を実施する。					
根拠法令等					事業計画	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。				事業計画	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。					
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	緊急工事を含め計14件の修繕を実施しました。				上半期活動実績	-					
執行体制	全て委託				成果	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施する。				上半期成果	-					
事業の目的	配水場等施設の適切な運転及び維持管理を実施し、お客様である水道使用者に安心してご利用いただける安全な水道水を常に安定的に供給するため。				課題	配水場等の水道施設数が多く、また、経年劣化が進行していることから、設備機器の故障が今後増加することが予想されます。水道事業者として常に良質な安定した水道水の供給を行う必要があるため、定期計画的な機器の点検に基づく施設の更新整備等が重要です。				課題	-					
事業の概要	配水場の設備機器の故障や異常発生時等に迅速に修繕を実施するものです。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠			
ISO 14001 関連性	その他				評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度 の方向性			
					評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		理由			
					評価	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-					

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	1,767千円	2,729千円	6,480千円	0千円
内訳				
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	1,767千円	2,729千円	6,480千円	0千円
人件費(B)	2,278千円	2,229千円	4,457千円	
内訳				
正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.60人
時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
臨時職員等	有	有	無	
事業コスト(A+B)	4,045千円	4,958千円	10,937千円	